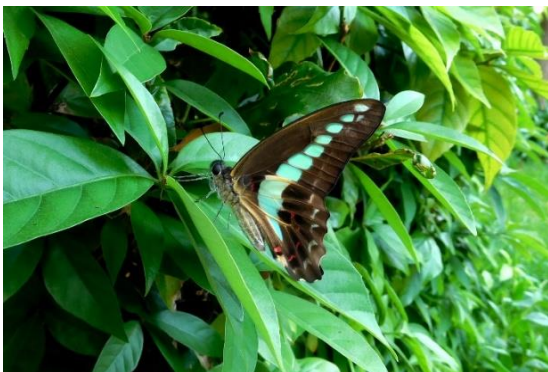


和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
アオスジアゲハ	アゲハチョウ科	黒地に映える青いスジ	○	○	○	本州以南



川崎市 5月3日 (2020年) ヒメジヨオンに飛来



川崎市ハイム内 8月4日 (2018年) 全く動かない、熱中症？



川崎市 10月28日 (2021年) センダングサに飛来



川崎市ハイム内 9月23日 (2018年) 三齢幼虫 広場のクスノキ。上の方の葉裏に卵も見える

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食草 ○ 食樹				発生回数/年				越冬形態			
クスノキほか				3~4				蛹 (さなぎ)			

ハイム内にはクスノキが多く、この木の葉を幼虫が食することからハイム内でもよく見かける蝶（とはいえ飛ぶのは速い）ですので見覚えのある方も多いのではないのでしょうか？

クスノキは都市公害に強い街路樹としてよく植えられ、防虫剤の原料としても使われているので、それを食用にしてしまうアオスジアゲハが機敏に飛び回るのもなんとなく納得がいきます。

春から秋にかけて何回か世代交代するのでハイム内のクスノキの若葉をよく見ると、卵や幼虫が簡単に見つかります。

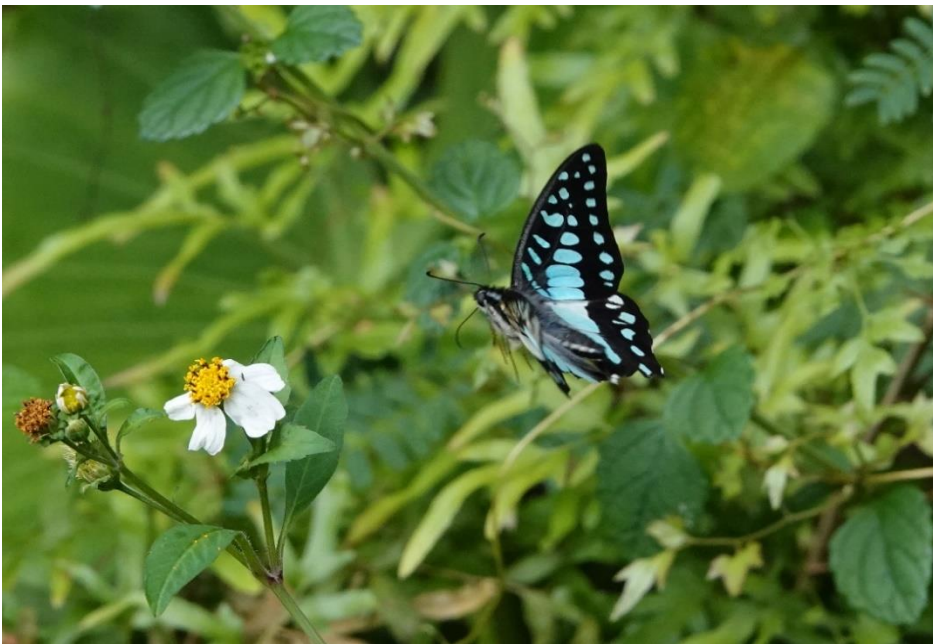
ハイム周辺にはいませんが、よく似たアゲハに羽模様がもう少し複雑なミカドアゲハというのがいます。九州、紀伊半島以南・四国の南側に生息する暖地性の蝶でアオスジアゲハとは異なりオガタマノキほかのモクレンの仲間を食樹としています。



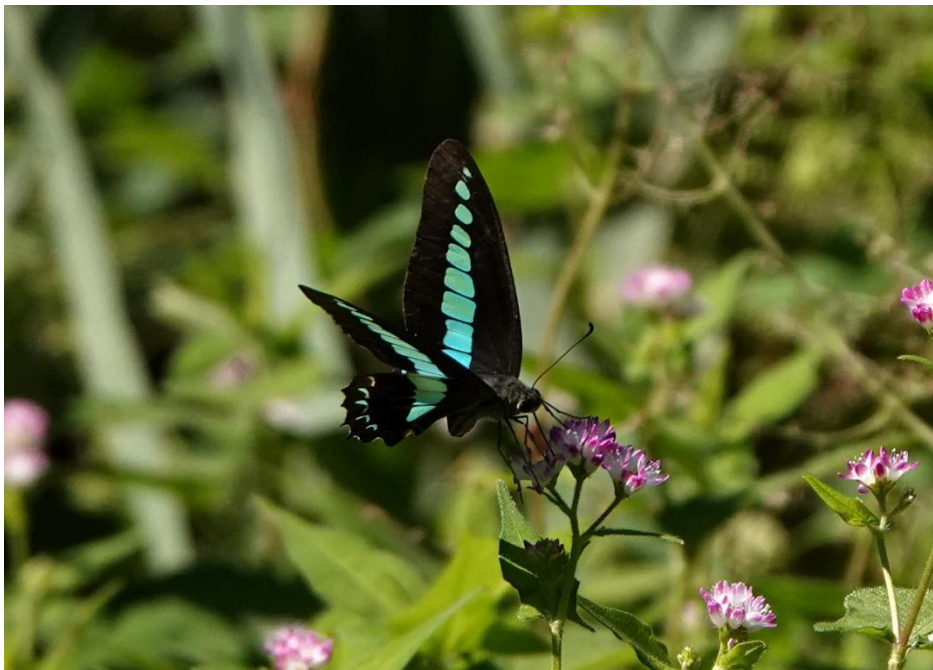
ミカドアゲハ 石垣島 10月14日 (2020年) 河原で吸水



アオスジアゲハ
川崎市 5月3日 (2020年)
ヒメジョオンに飛来



ミカドアゲハ
石垣島 2月10日 (2020年)
センダングサに飛来



アオスジアゲハ
川崎市 10月3日 (2023年)
湿地のミゾソバに飛来